



早稲田大学文学部学芸員資格課程 夏季集中講座報告

2019年3月

もくじ

はじめに —— 講座のなりたちと背景 ——	1
学芸員資格課程夏季集中講座16年間の回想	3
基本情報/アンケート結果	
◆ 学芸員夏季講座の開講状況	6
◆ 早稲田大学出身者（2014年度～2018年度）	7
◆ 受講者の構成について	8
科目担当教員一覧	15
早稲田大学文学部学芸員資格課程特別講演会一覧	35
謝 辞	37

はじめに ——講座のなりたちと背景——

この講座が開設されて16年。多くの受講生と修了生の皆さんに支えられてきましたが、今年度をもってその歴史を閉じます。

これまでの講座修了生からは、学芸員はもとより博物館館長も誕生しています。また、この講座は博物館経営者の方々、指定管理業務関連の方々、定年をむかえた方、子育てを終えて勉学に意欲的な方にも広く受け入れられてきました。学芸員にはならなくとも、取得した学芸員資格を活かしてのビジネスにすすむ方、ボランティア活動にはげむ方、自分の研究テーマにもとづいて充実した勉学生活を続けている方もいます。まさに「学び」のあり方は各人各様で、どのように資格を活かすかは、その人次第です。

この「講座のなりたちと背景」はこれから講座を受ける皆様のために書いたもので、少しでも気懸かりを和らげ、早稲田大学で再び学ぶことの意義や共通認識をわかちあっていただくためのものでした。以下をお読み頂ければ講座のあらましが分かりますので、あえて原文のまま再掲載します。

●講座のなりたち

この3つのキーワードを軸に説明します。

1/実学の実践

2/学芸員資格制度

3/文学部の意義

「**実学の実践**」は、早稲田大学の歴史とかかわりがあります。

現在、早稲田大学は2つの博物館を所有しています。

坪内博士記念演劇博物館、會津八一記念博物館です。坪内逍遙は歴史的に著名な英文学者。その弟子である會津八一は書家、歌人、美術史家として知られています。また、早稲田大学における美術史学の創始者で、すぐれた教育者でもありました。昭和2年(1927)秋、大学創立45周年を記

念する大隈講堂竣工記念の式典で會津八一は「実学論」と題する講演を行います。

「実学には世の中の為になるような学問と、自分の身になるようにする学問の二つがある。自分がいいたいのは後者で、どうすれば学問が真にわれわれの身につくようになるかということである。われわれは物に接し、物を見、これを知り、これを信じるためにはよほど用意してかからなければならない。文献があり伝説があっても、これを信じて疑わざらんとするには慎重な用意がいる。われわれを最も有効に用意せしめるものは一にも二にも実物である。千の文献よりも一つの実物である。実物の権威、何物もこれを遮ることができないのである」と述べ、実物を介して学ぶ博物館設立の意義を訴えました。今でこそ現代人は、博物館といえば共通のイメージを有していますが、当時その主張は、かなり時代の先を予見していた発言でした。およそ90年がたち、その願いを受け継ぐ形で誕生した會津八一記念博物館は、「学問をしたいひとのために開かれた場でなければならない」という使命を背負っています。学芸員養成講座も會津八一記念博物館の果たすべき役割のひとつです。学びたい人が学べる機会を提供する場としてこの博物館はあります。

つづいて「**学芸員資格制度**」について説明します。現行の資格取得の制度は、ひとたび社会に出てから取るうとすると非常に困難をとまなうものになっています。現在、社会人が資格を取得するには、文科省の試験を通るか、通信教育に数年間を費やすか、改めて大学に入り直すかしかありません。学芸員は超難関な職のひとつです。学芸員資格を取得してもかならずしも学芸員になれるとは限りません。その一方で「学芸員資格を取得したい」「セカンドキャリアのために学芸員資格がほしい」という声や相談が大学に多く寄せられていました。そのための工夫が、大学の夏休みには

空いている教室があるということ。文科省の定める資格取得に開講当時必要だった「12単位（平成24年度から19単位）」ならば、ひと夏という期間のなか、集中授業で可能だということ。また複数年受講制度にすれば、時間をやりくりしての受講が可能だということです。生涯教育の促進という視点から、文科省の理解を得、平成15年度に開講となりました。

最後に「**文学部の意義**」を軸に説明します。ここはこの講座の創設者・大橋一章・文学学術院名誉教授の言葉をかりましょう。

「文学部はただでさえく浮き世離れ>していると言われる。だからこそ文学部は社会に対して存在意義をみずから厳しく問うていかねばなりません。その国の文化を継承発展させる力は文学部こそ母胎であってほしいと願っています。文化は人が育み継承します。資源のない日本は、人材こそ最大の資源です。文化的教育の場の質が問われています。この講座の修了生から、<この講座を受けたおかげで、外国人とのパーティーなどで日本文化について自信をもって話ができます>と言われたことがありました。この講座をひらいて最も嬉しかったことのひとつです。私は学芸員資格を有する人が増えれば増えるほどいいと思っています。この資格をとおして日本文化に関心を持ち、文化の基層がもう一段あがることを願っています。美術館だけでなく、市井に、家庭に、職場に、学芸員資格取得者がいてかまわないのです。増えれば増えるほど美術館や博物館へ行く人は増え、芸術や文化について語り合う場や情報も増大していくはずです。早稲田で資格を得たことを楽しく語ってくれるかもしれません。市民生活にとけこんだ形で学芸員の資格取得者が存在することがひとつの夢です。文学部は年齢対応の比較的緩やかな学部で、人間を謳う詩歌や古典などある年齢に

達しないと理解できないものもあります。人文学は広い意味での人間学といってもさしつかえないでしょう。文学部は学びの接点が多いのです。生涯教育の目標にまた大学で学びたいとおもったときに、いったん法学や経済や別の学問を大学で学んだ人が、学び直すきっかけにぜひ「文学部」を選んでいただきたい。学芸員資格取得とはこうした人間学を集約する接点として、きわめて有意義な資格といえます。同時にもういちど大学に目を向け、足を運んでいただく機会にして欲しいのです。」

●講座運営の方針

この講座運営に心をくだしていることがいくつかあります。最高の講義を提供すること、他大学では決して学べないプログラムを提供すること、受講者には満足したという想いと共に帰っていただくということ。これを教員全員が共有できるよう努めています。担当する教員は博物館の現場で活躍する方や、博物館学や文化財のスペシャリストです。

また、講座期間中にアンケートを実施しています。可能な限り授業における不満点の解消や、不備な点の解決にあたるように、意見を集めています。いただいた意見は、講座運営が一方的にならないように、翌年度の授業に反映させていますので、ご協力をお願いします。

●最後に

講座の基本的な考え方を説明しました。本ウェブサイトには多くの情報を盛り込んでいますので申し込み前や受講前によくお読みいただき、講座全体の成り立ちを把握してください。夏の暑いひと月、勉強に追われる日々となります。ぜひ体調を整えてご参加ください。

学芸員資格課程夏季集中講座16年間の回想



早稲田大学文学部
学芸員資格課程夏季集中講座コーディネーター

教授 山田 磯 夫

早稲田大学文学部学芸員資格課程夏季集中講座は2003年に始まりました。創設者の大橋一章教授（2003～2012）が初代のコーディネーターであり、2代目が内田啓一教授（2013）、3代目が山田磯夫（2014～2018）です。

私と当講座とのかかわりは開設の2年前にさかのぼり、大橋教授の指示で「ひと夏で資格が取れる」基本計画案とカリキュラム案を提案し、講座が始まってからは博物館実習や博物館概論等を担当しました。早稲田大学では教育学部に学芸員課程があるので、文学部では夏季にだけ一般の社会人を対象として開設されたわけで、文部科学省の担当者は生涯学習の一環として高く評価してくれたと聞いています。それでは、講座開設当初から振り返り、私から見えた取り組みと特徴等についてお話ししましょう。

なお、参考のために「基本情報／アンケート結果」、「科目担当教員一覧」、「早稲田大学文学部学芸員資格課程特別講演会一覧」を掲載しました。

1期（2003）の受講生は24人と少数でしたが、3期（2005）には200人を超え9期（2011）までこの水準を保ちます。受講生の急増は巧みな広報活動によっていたわけで喜ばしいことですが、博物館実習は受講人数がかぎられているので、博物館実習のクラス増設と資料や道具の充実が急務となりました。

この間、2008年に改正博物館法が公布、2009年2月に報告書『学芸員養成の充実方策について』が公表され、ここに学芸員資格取得に必要な「博物館に関する科目」は1997年に8科目12単

位であったものが、2012年に9科目19単位になることが盛り込まれていたのです。この新課程が実施されるまでの3年間で周知、施行猶予期間になりました。

2009年の新課程の公表は2月であり、当講座の5月後半の出願期間に間に合う時期であったためかこの年の受講生は242人まで増え、まさに駆け込み需要の3年間でした。

第10期2012年の受講生は150人と当然の反動があり、最後の年まで200人に届くことはありませんでした。この年に前年比100人減となったのは、前年からの反動だけではなく、資格取得単位が19単位となったための受講生の経済的負担が大きくなったことが要因と考えられます。さらに、新カリキュラムによりそれまで8科目12単位を20日間でおこなっていましたが、9科目19単位をひと夏に収めるために、オンデマンド授業を取り入れ自宅での学習ができるようにしましたが、それでも、開講期間は29日間になり、受講生の負担は増えました。

12期（2014）に私は着任し、いくつか策を試みます。まず、受講生と修了生のために博物館・学芸員・文化財などについて考えて頂くとともに、情報交換の場として1年に2回の特別講演会を企画し、毎回150人前後の参加者を集めました。さらに、13期（2015）に修了生からの要望の実現と講座活性化のために選択科目（基礎講義3科目、保存修復3科目）を増設しています。また、博物館概論と博物館資料論を必修とし、博物館実習の2週間コースだけを履修する受講生にも受講しやすくするように時間割を変更しました。これは博

博物館概論と博物館資料論で博物館学や博物館実習であつかう資料の基本を学ぶので、スムーズに各科目を学ぶための共通理解をもってもらうため、15期から始めました。

14期（2016）は再び受講生が増えつつありましたが、おなじ年の出願締め切り後の6月に夏季講座廃止が発表されたのです。

当講座の特徴は広く社会人に門戸を開き、科目等履修生として博物館学芸員の資格をひと夏で取得できるようにオンデマンド方式を取り入れながらカリキュラムを組んだところにあります。社会人が学芸員資格を取得する場合、受け入れてくれるのは卒業大学にほぼ限られ、卒業した大学でも受け入れできる定員の関係で断られることも多いと聞きます。当講座は単位制の正規課程ですから2年3年と時間をかけることも、他大学で取得した単位で補うこともできますし、博物館実習を3週間コースだけでなく2週間コースも設置するなど、社会人に受け入れやすいシステムです。学生時代に取得できなかった資格を、仕事を続けながら取得したいと切望する社会人にとっては無二の存在であったのです。ある受講生から「早稲田は度量が広い」とのことばを頂いたのはこのような背景があったからです。

すべてのひとに門戸を開いていますから、障がいを持つ受講生に対しても大学の「障がい学生支援室」と事前に打ち合わせし、連携しながら受講生が望む受講方法を研究しました。とりわけ博物館実習は資料の取扱いや道具の使用、展示実習などのグループワークがおこなわれますが、それらの体験が必須なので、一人ひとりに合わせて体験できることを増やす工夫を続けました。

16年間で受講生はのべ2,816人に及び、講義科目225コマ、博物館実習は109コマ、選択科目は56コマ開講しました。受講生のほとんどは他大学の卒業生、ついで他大学の現役学生、本学院生、本学卒業生の順です。本学卒業生は比較的少

なく、全体に対して8.3%でした。受講生の年齢構成は19歳から80歳代までと幅広く、この年齢差のある受講生と一緒に学ぶのですから、これが面白いと好評でした。最も多いのは20歳代ですから学芸員への就職を考えている大学を卒業したばかりの方、ついで50歳代、60歳代は定年退職後を視野に入れ、博物館でのボランティア活動や趣味、みずからの博物館を作りたいという希望を持っている方が見受けられます。

国内の博物館には学芸員資格を持たない博物館館長が大勢存在する中で、博物館の館長や副館長に就任したので博物館学を学び学芸員の資格を取りたいという方や大学で教鞭を執る先生方、現役または退職された小・中・高等学校の教諭の皆さんが熱心に受講していました。頭を垂れる稲穂のごとく、謙虚に学ばれる姿には感動を覚えました。

また、再び学ぶために母校に帰ってきたという卒業生の声を聞くと、喜びを感じます。本学の院生の受講は毎年多く、これとは別に直近五年間の本学出身者のデータでは明確な傾向は見られないものの、やはり20歳代が多いのは全体の傾向と同じです。院生のなかでとりわけ留学生が目立つのは近年の特徴といえそうです。

受講生は当講座に将来の夢を託すわけですから、期待に応え本格的かつ実践的なカリキュラムを組むために、教授や研究者に加え現役の学芸員にも担当して頂きました。学内に坪内博士記念演劇博物館と會津八一記念博物館や他の展示室がありますので、博物館概論で見学会を、會津八一記念博物館の企画展示室で展示の実習をおこなうのも本物志向の表れです。

授業内容は日本美術を中心として、人文系博物館の学芸員に必要な知識を修得するための構成となっています。それゆえ博物館実習では「本物の美術品」を使用しています。博物館実習はクラスが増え最高で8クラスが同時に実習をおこなうため、資料や道具の移動が頻繁になり実習の準備が大変に忙しくなりますが、夏季講座担当の職員や

クラス担当と収蔵庫担当のTA（ティーチングアシスタント）が上手に連携して懸命に運搬や準備をおこない授業をサポートしてくれていました。こうして、先端の知識と実践的な技能とを身につけた学芸員を養成するプログラムが用意されていたのです。

当講座は資格取得のためにありますが、資格取得に限らず、社会人の学びなおし、さらには生涯学習機関としての社会的使命の一端を担ってきたと自負しています。それだけに資格を取得したらそれで大学とのつながりがなくなるのではなく、さらに学び続ける場を提供することを企図し、先述のように選択科目の増設と講演会を始めたわけです。

講座を続けていくとさまざまな対応を迫られます。

他大学からは粗製濫造の声が聞かれました。たしかに、授業日程が詰まり、一週間に一度の授業のようにかみこなす間がないので、弱点といえます。しかし、受講生の皆さんの熱意と充実したカリキュラムは粗製でもなければ濫造でもありませんでした。受講生からの支持とともに世間で認知され、先述のように博物館の館長や小・中・高・大学の教員の受講が良質なプログラムであったことを示しています。

一方、毎日の講座運営の中では、受講生の体調

不良、怪我により救急車のお世話になることもありました。いずれも教員、TA、運営担当、保健センター、事務職員等の連携での確な対応ができ、安心して授業に取り組める体制が整っていました。

当講座は生涯学習機関として夢を叶える手伝いをする場でした。仕事のため、セカンドキャリアのため、趣味のため、楽しみのため、社会貢献のため、そして夢のため。修了生の中にはすでに夢をかなえた方が大勢いらっしゃいます。民間から公立美術館館長になった方々、海外の大学を卒業し当講座で資格取得して学芸員になった方々、海外の博物館で働きながら資格を取りに来た方々、美術品を撮影したいとフォトグラファーになり資格取得でより良い撮影機会に恵まれた方、実家の美術館をついだ方、家族の作品を基に美術館を造った方、造った美術館を登録博物館にした方、事務職で入った博物館で資格取得後に学芸員になった方、資格を取って自信を持って博物館でボランティアとして働く方々。

取得した資格は皆さんに夢がある限り活かすことができます。

夢を叶えたいという皆さんの熱意が、この講座を支えてくださいました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

基本情報／アンケート結果

◆ 学芸員夏季講座の開講状況

受講者数（科目等履修生）

単位：人

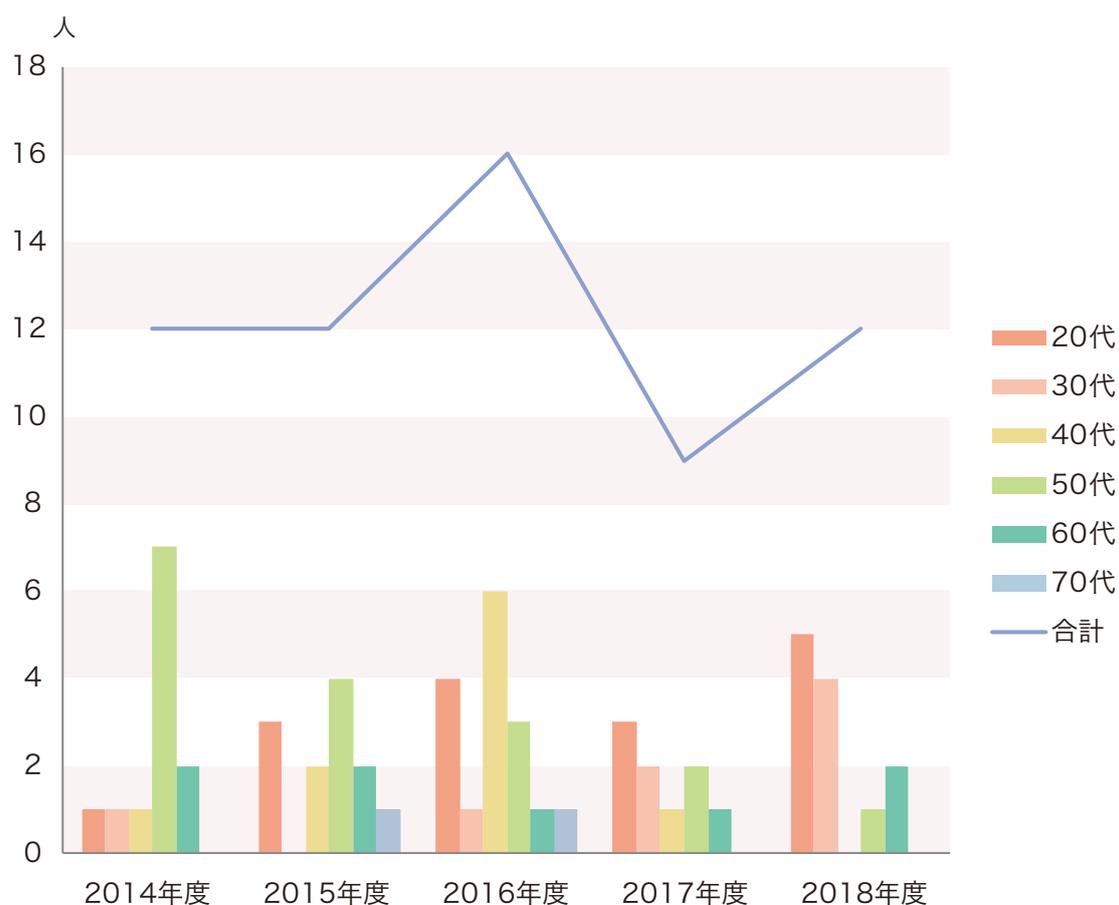
学 生 種 別			2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003
新 規	学 外	他大生	10	13	24	12	13	13	20	16	11	17	18	-	-	-	-	-
		他大院生	4	2	3	4	13		2	4	7	9	2	-	-	-	-	-
		他大院生 (本学卒)	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	-	-	-	-	-
	社 会 人	本学卒	9	9	15	12	7	11	10	26	21	16	21	12	28	19	15	4
		他大卒	53	60	91	89	90	75	78	131	127	125	91	121	129	141	83	10
小 計			78	84	133	117	123	99	110	177	167	167	134	133	157	160	98	14
学 内 (院生)			16	11	25	14	16	18	14	21	21	23	20	14	10	31	25	10
継 続	学 外		26	31	32	25	21	27	26	40	48	48	53	70	47	35	4	0
	学 内 (院生)		3	4	2	4	4	3	0	6	3	4	10	-	-	-	-	-
合 計			123	130	192	160	164	147	150	244	239	242	217	217	214	226	127	24

◆ 早稲田大学出身者（2014年度～2018年度）

単位：人

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
2014年度	1	1	1	7	2	0	12
2015年度	3	0	2	4	2	1	12
2016年度	4	1	6	3	1	1	16
2017年度	3	2	1	2	1	0	9
2018年度	5	4	0	1	2	0	12

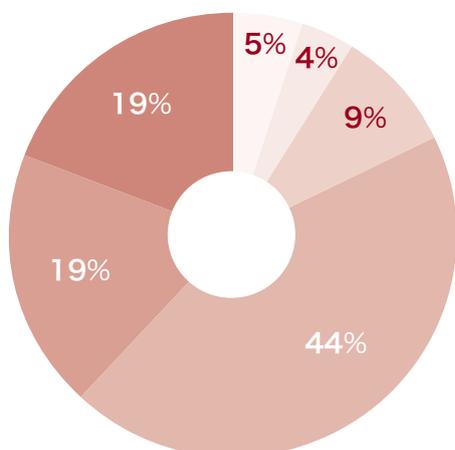
早稲田大学出身者の年代比（2014年度～2018年度）



◆ 受講者の構成について

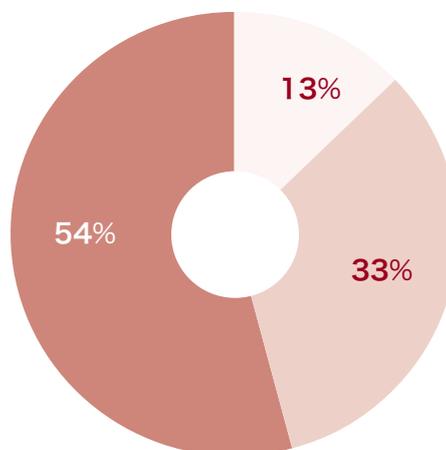
2006年度（受講生アンケート結果より）

【1】「社会人」である / 回答者数=100人



定年退職している	5人
定年退職準備中である	4人
専業主婦である	9人
職を休んでの受講である(フリー・自営含む)	44人
次の職までの準備期間である	19人
その他	19人

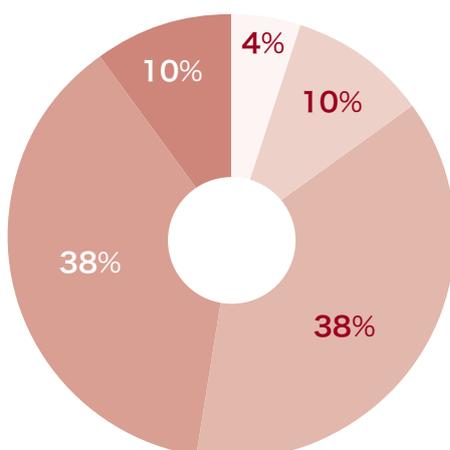
【2】「学生」である / 回答者数=24人



早稲田大学の大学院生である	3人
他大学から参加の大学院生である	8人
他大学から参加の学部学生である	13人
その他	0人

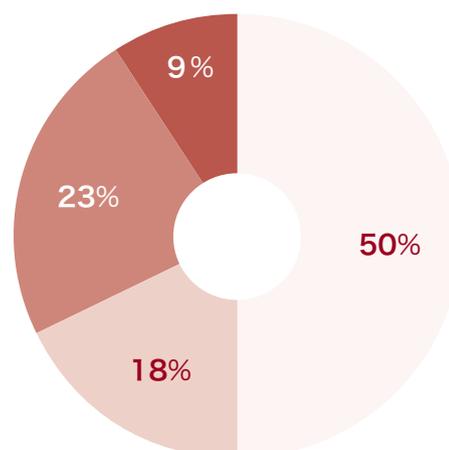
2007年度（受講生アンケート結果より）

【1】「社会人」である / 回答者数=80人



定年退職している	4人
専業主婦である	8人
職を休んでの受講である(フリー・自営含む)	30人
次の職までの準備期間である	30人
その他	8人

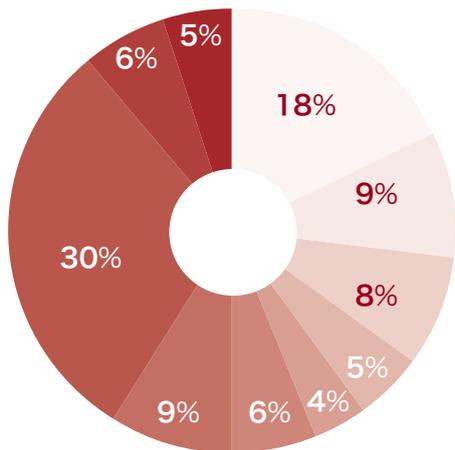
【2】「学生」である / 回答者数=22人



早稲田大学の大学院生である	11人
他大学から参加の大学院生である	4人
他大学から参加の学部学生である	5人
その他	2人

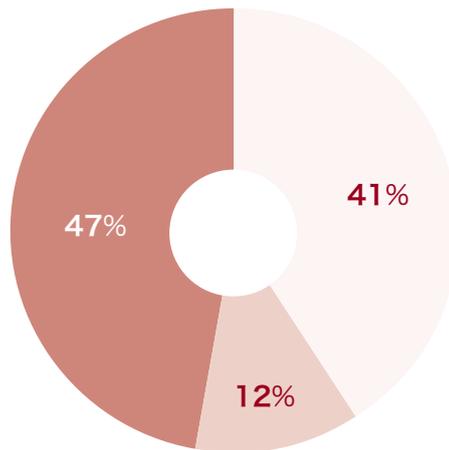
2008年度（受講生アンケート結果より）

【1】「社会人」である / 回答者数=78人



- 会社員…………… 14 人
- フリー・自営業…………… 7 人
- パート・派遣…………… 6 人
- 教職…………… 4 人
- 定年退職準備中…………… 3 人
- 定年退職…………… 5 人
- 専業主婦…………… 7 人
- 次の職までの準備期間
/ 大学卒業後、就職準備中…………… 23 人
- 社会人大学（院）生…………… 5 人
- その他（公務員、団体職員、大学職員）… 4 人

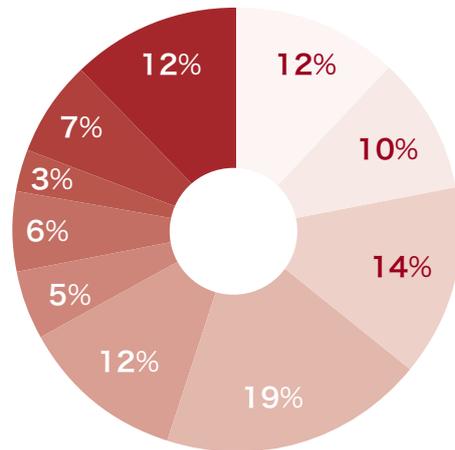
【2】「学生」である / 回答者数=17人



- 早稲田大学の大学院生である…………… 7 人
- 他大学から参加の大学院生である…………… 2 人
- 他大学から参加の学部学生である…………… 8 人
- その他…………… 0 人

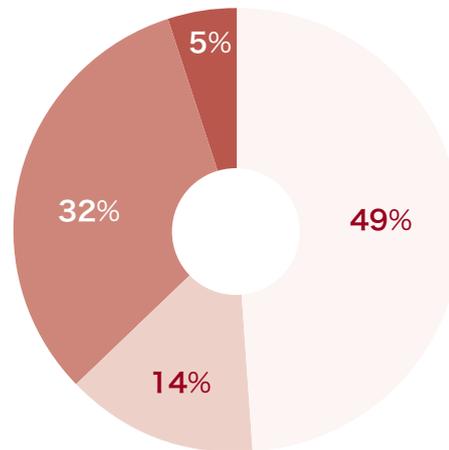
2009年度（受講生アンケート結果より）

【1】「社会人」である / 回答者数=86人



- 定年退職…………… 10 人
- 専業主婦…………… 9 人
- 会社員…………… 12 人
- 次の職までの準備期間…………… 17 人
- フリー・自営業…………… 10 人
- 就職準備中…………… 4 人
- パート・派遣…………… 5 人
- 教職…………… 3 人
- 社会人大学（院）…………… 6 人
- その他…………… 10 人

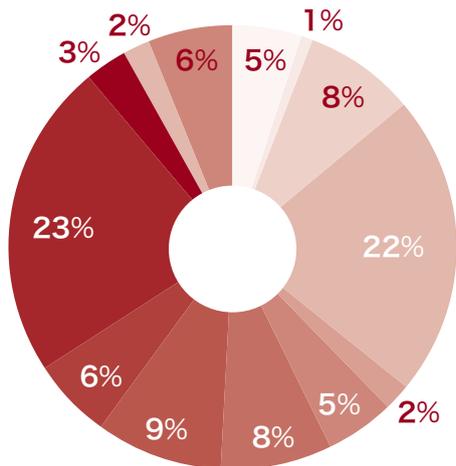
【2】「学生」である / 回答者数=22人



- 早稲田大学の大学院生である…………… 11 人
- 他大学から参加の大学院生である…………… 3 人
- 他大学から参加の学部学生である…………… 7 人
- その他…………… 1 人

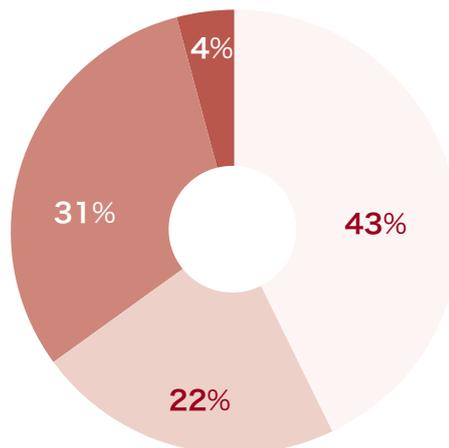
2010年度（受講生アンケート結果より）

【1】「社会人」である / 回答者数=116人



定年退職	6人
定年退職準備中	1人
専業主婦	9人
会社員	25人
非営利団体(財団法人、NPO等)勤務	3人
行政職	6人
教員・学校職員	9人
フリー・自営業	11人
パート・派遣	7人
就職後、準備期間中	26人
大学卒業後、就職準備中	4人
社会人大学(院)生	2人
その他	7人

【2】「学生」である / 回答者数=23人



早稲田大学の大学院生である	10人
他大学から参加の大学院生である	5人
他大学から参加の学部学生である	7人
その他	1人

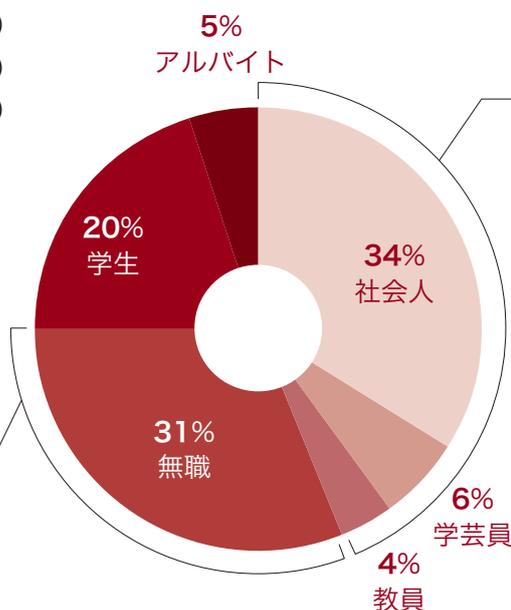
2011年度（出願関係データより）

現在の職業は？ 総計244人

社会人	34% (83人)
学芸員	6% (14人)
教員	4% (9人)
無職	31% (76人)
学生	20% (49人)
アルバイト	5% (13人)

無職の内訳 計76人

主婦	20% (15人)
就職活動中	54% (41人)
定年退職	26% (20人)



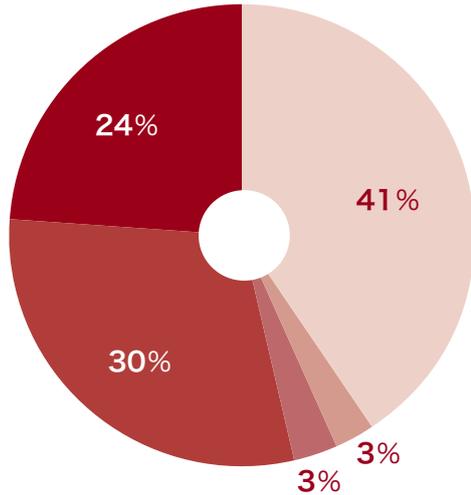
社会人・学芸員・教員の内訳 総計106人

博物館勤務	9% (10人)
博物館勤務(任期付)	4% (4人)
教諭	5% (5人)
研究員	2% (2人)
大学教員	2% (2人)
社員	38% (40人)
会社役員	4% (4人)
職員	18% (19人)
司書	6% (7人)
自由業	6% (7人)
画廊	3% (3人)
記者	1% (1人)
放送	1% (1人)
住職	1% (1人)

2012年度（出願関係データより）

現在の職業

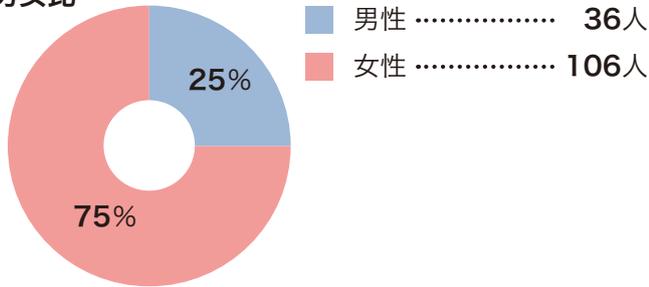
総計 142人



社会人	58人
博物館・資料館(史料館)勤務	4人
教員	4人
無職	42人
学生	34人

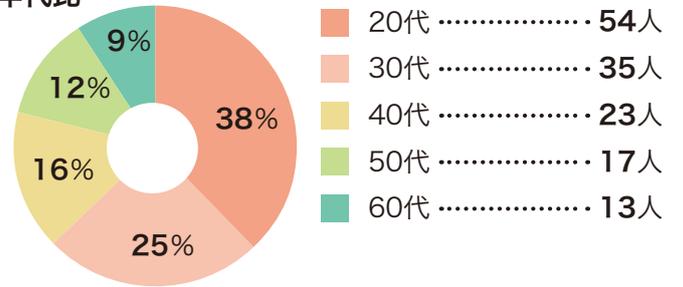
社会人・博物館勤務・教員の内訳	総計66人
会社勤務	36%(24人)
教員	6%(4人)
公務員	6%(4人)
大学職員	9%(6人)
団体職員	2%(1人)
派遣社員	15%(10人)
博物館勤務	6%(4人)
自営業	20%(13人)

男女比



男性	36人
女性	106人

年代比

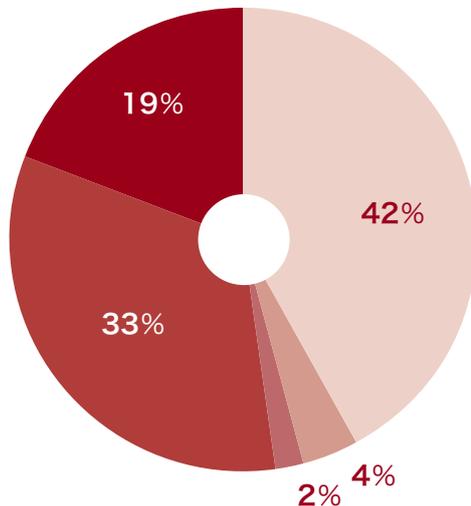


20代	54人
30代	35人
40代	23人
50代	17人
60代	13人

2013年度（出願関係データより）

現在の職業

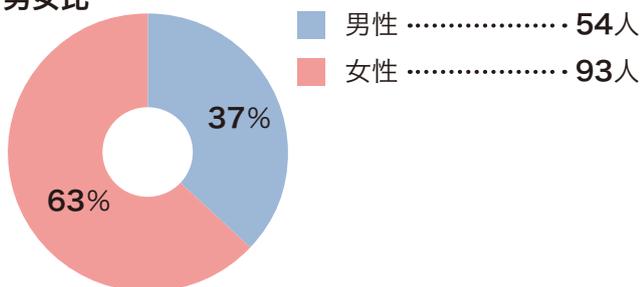
総計 147人



社会人	62人
博物館・資料館(史料館)勤務	6人
教員	3人
無職	48人
学生	28人

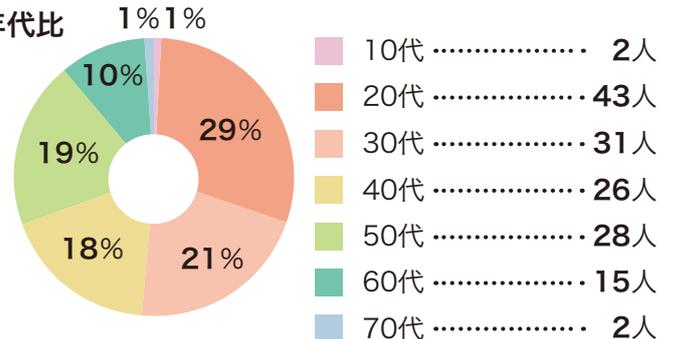
社会人・博物館・資料館(史料館)勤務・教員の内訳	総計 71人
会社勤務	54%(38人)
教員	4%(3人)
公務員	6%(4人)
大学職員	6%(4人)
団体職員	13%(9人)
博物館・資料館(史料館)勤務	8%(6人)
自営業	10%(7人)

男女比



男性	54人
女性	93人

年代比

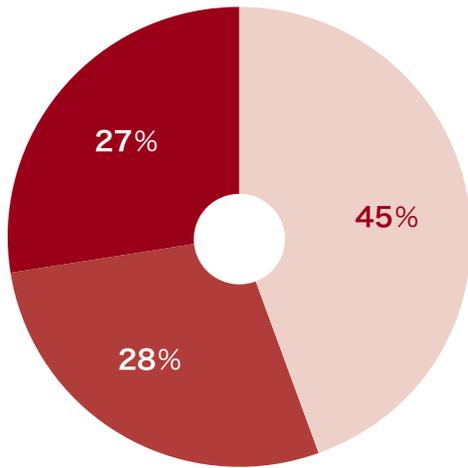


10代	2人
20代	43人
30代	31人
40代	26人
50代	28人
60代	15人
70代	2人

2014年度（出願関係データより）

現在の職業

総計 164人



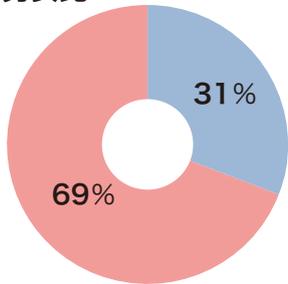
- 社会人 73人
- 無職 46人
- 学生 45人

社会人の内訳

総計 73人

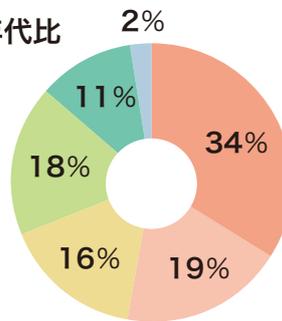
- 会社勤務 47% (34人)
- 団体職員 16% (12人)
- 自営業 12% (9人)
- 博物館・資料館(史料館)勤務 10% (7人)
- 公務員 10% (7人)
- 大学職員 4% (3人)
- 教員 1% (1人)

男女比



- 男性 51人
- 女性 113人

年代比

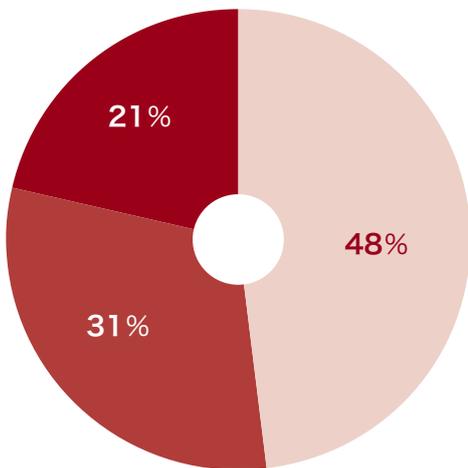


- 20代 56人
- 30代 31人
- 40代 26人
- 50代 29人
- 60代 18人
- 70代 4人

2015年度（出願関係データより）

現在の職業

総計 160人



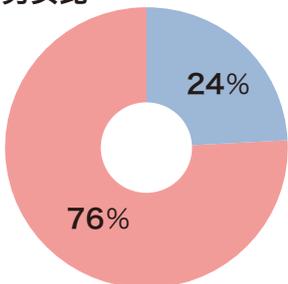
- 社会人 77人
- 無職 49人
- 学生 34人

社会人の内訳

総計 77人

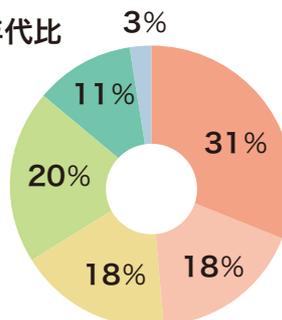
- 会社勤務 43% (33人)
- 団体職員 16% (12人)
- 派遣社員・アルバイト 13% (10人)
- 公務員 6% (5人)
- 博物館・資料館(史料館)勤務 5% (4人)
- 自営業 5% (4人)
- 美術館勤務 3% (2人)
- 大学教員 3% (2人)
- 小・中・高校教員 3% (2人)
- 自由業 3% (2人)
- 学芸員 1% (1人)

男女比



- 男性 39人
- 女性 121人

年代比

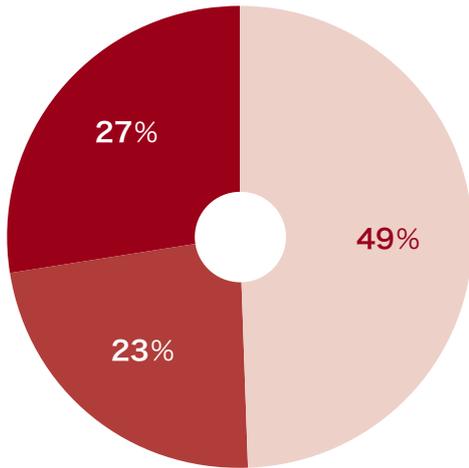


- 20代 50人
- 30代 28人
- 40代 28人
- 50代 32人
- 60代 18人
- 70代 4人

2016年度（出願関係データより）

現在の職業

総計 192人



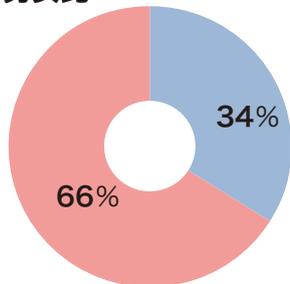
- 社会人 95人
- 無職 45人
- 学生 52人

社会人の内訳

総計 95人

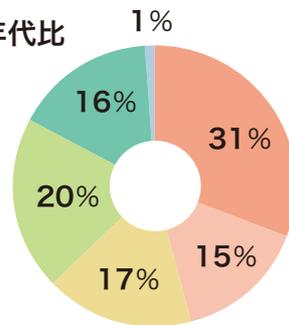
- 会社勤務 38% (36人)
- 派遣社員・アルバイト 8% (8人)
- 教育機関 8% (8人)
- 自営業 7% (7人)
- 博物館・資料館(史料館)勤務 6% (6人)
- 小・中・高教員 6% (6人)
- 自由業 6% (6人)
- 団体職員 5% (5人)
- 医療機関 4% (4人)
- 公務員 3% (3人)
- 司書 3% (3人)
- 美術館勤務 2% (2人)
- 大学教員 1% (1人)

男女比



- 男性 66人
- 女性 126人

年代比

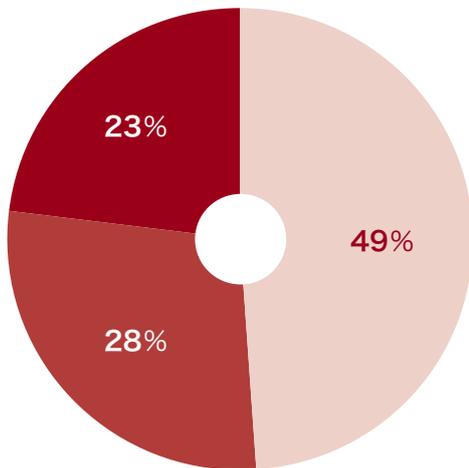


- 20代 60人
- 30代 28人
- 40代 33人
- 50代 39人
- 60代 30人
- 70代 2人

2017年度（出願関係データより）

現在の職業

総計 130人



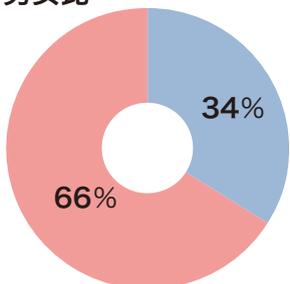
- 社会人 64人
- 無職 36人
- 学生 30人

社会人の内訳

総計 64人

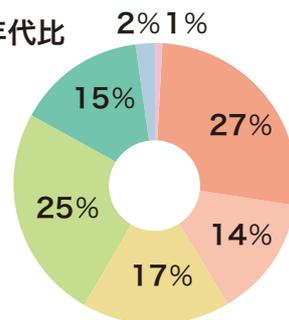
- 会社勤務 53% (34人)
- 団体職員 9% (6人)
- 自営業 8% (5人)
- 派遣社員・アルバイト 6% (4人)
- 公務員 5% (3人)
- 博物館・資料館(史料館)勤務 5% (3人)
- 小・中・高教員 5% (3人)
- 医療機関 3% (2人)
- 美術館勤務 2% (1人)
- 司書 2% (1人)
- 大学教員 2% (1人)
- 教育機関 2% (1人)

男女比



- 男性 44人
- 女性 86人

年代比

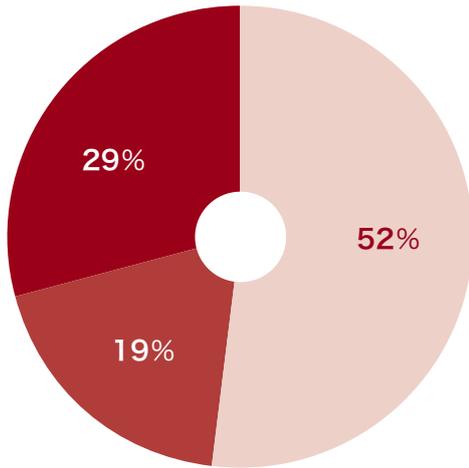


- 10代 1人
- 20代 35人
- 30代 18人
- 40代 22人
- 50代 33人
- 60代 19人
- 70代 2人

2018年度（出願関係データより）

現在の職業

総計 123人



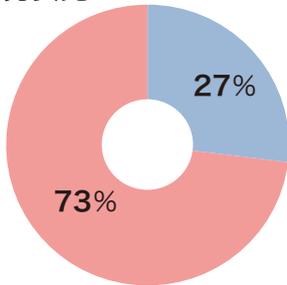
- 社会人 64人
- 無職 23人
- 学生 36人

社会人の内訳

総計 64人

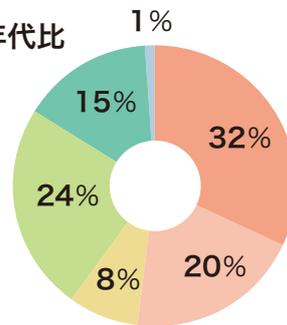
- 会社勤務 47% (30人)
- 小・中・高教員 13% (8人)
- 団体職員 6% (4人)
- 自営業 6% (4人)
- 大学教員 6% (4人)
- 教育機関 6% (4人)
- 博物館・資料館(史料館)勤務 5% (3人)
- 美術館勤務 3% (2人)
- 自由業 3% (2人)
- 派遣社員・アルバイト 2% (1人)
- 公務員 2% (1人)
- 司書 2% (1人)

男女比



- 男性 33人
- 女性 90人

年代比



- 20代 39人
- 30代 25人
- 40代 10人
- 50代 29人
- 60代 19人
- 70代 1人

科目担当教員一覧

次のURLより、各科目のシラバスをご確認いただくことができます。

<https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA102.php>

開講年度で対象年度を、学部名を2006年度までは「一文」、2007年度以降は「文」に設定し、科目名やキーワード欄に入力の上、「検索」を押下してください。

なお、一部シラバスをご覧いただけない科目があります。

2003年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
博物館概論（博物館・学芸員）	大橋一章	2
博物館学各論（博物館・学芸員）	岡部央	4
	星山晋也	
博物館実習（博物館・学芸員） A	村重寧	3
	山田磯夫	
博物館実習（博物館・学芸員） B	内藤勝雄	
視聴覚教育メディア論（博物館・学芸員）	坂本恭子	1
教育学概論（博物館・学芸員）	山西優二	1
生涯学習概論（博物館・学芸員）	片岡了	1
	合計	12

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財行政論（博物館・学芸員）	川瀬由照	2
文化財保存修復（博物館・学芸員） A	櫻庭裕介	2
文化財保存修復（博物館・学芸員） B	遠藤三右衛門	

2004年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
博物館概論（博物館・学芸員） A	村松哲文	2
博物館概論（博物館・学芸員） B	大橋一章	
博物館学各論（博物館・学芸員）	岡部央	4
	星山晋也	
博物館実習（博物館・学芸員） A	山田磯夫	3
博物館実習（博物館・学芸員） B	内藤勝雄	
博物館実習（博物館・学芸員） C	内田啓一	
博物館実習（博物館・学芸員） D	鈴木泉	
視聴覚教育メディア論（博物館・学芸員） A	濱崎好治	1
視聴覚教育メディア論（博物館・学芸員） B	山田磯夫	
教育学概論（博物館・学芸員） A	熊澤恵里子	1
教育学概論（博物館・学芸員） B	山西優二	
生涯学習概論（博物館・学芸員） A	古市将樹	1
生涯学習概論（博物館・学芸員） B	片岡了	
	合計	12

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財行政論（博物館・学芸員）	伊藤信二	2
	川瀬由照	
文化財保存修復（博物館・学芸員） A	櫻庭裕介	2
文化財保存修復（博物館・学芸員） B	遠藤三右衛門	

2005年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
博物館概論（博物館・学芸員） A	村松哲文	2
博物館概論（博物館・学芸員） B	大橋一章	
博物館学各論（博物館・学芸員） A	岡戸敏幸	4
	宮瀧交二	
博物館学各論（博物館・学芸員） B	若林繁	
	岡部央	
博物館実習（博物館・学芸員） A	篠雅廣	3
	浅井京子	
	薩摩雅登	
博物館実習（博物館・学芸員） B	横溝廣子	
	浅井京子	
	薩摩雅登	
博物館実習（博物館・学芸員） C	横溝廣子	
	内田啓一	
博物館実習（博物館・学芸員） D	鈴木泉	
	内田啓一	
博物館実習（博物館・学芸員） E	鈴木泉	
	杉山正司	
博物館実習（博物館・学芸員） F	内藤勝雄	
	内藤勝雄	
博物館実習（博物館・学芸員） G	山田磯夫	
	内藤勝雄	
視聴覚教育メディア論（博物館・学芸員） A	山田磯夫	1
視聴覚教育メディア論（博物館・学芸員） B	濱崎好治	
教育学概論（博物館・学芸員） A	中條英樹	1
教育学概論（博物館・学芸員） B	熊澤恵里子	1
生涯学習概論（博物館・学芸員） A	山西優二	1
生涯学習概論（博物館・学芸員） B	古市将樹	
	片岡了	1
	合計	12

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財行政論（博物館・学芸員）	伊藤信二	2
	川瀬由照	
文化財保存修復（博物館・学芸員） A	櫻庭裕介	2
文化財保存修復（博物館・学芸員） B	遠藤三右衛門	
文化財保存修復（博物館・学芸員） C	庄司文計	

2006年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
博物館概論（博物館・学芸員） A	村松哲文	2
博物館概論（博物館・学芸員） B	大橋一章	
博物館実習（博物館・学芸員） A	杉本欣久	3
	林宏一	
博物館実習（博物館・学芸員） B	宮瀧交二	
	杉本欣久	
博物館実習（博物館・学芸員） C	林宏一	
	宮瀧交二	
博物館実習（博物館・学芸員） D	内田啓一	
	鈴木泉	
博物館実習（博物館・学芸員） E	内田啓一	
	鈴木泉	
博物館実習（博物館・学芸員） F	杉山正司	
	内藤勝雄	
博物館実習（博物館・学芸員） G	内藤勝雄	
	山田磯夫	
視聴覚教育メディア論（博物館・学芸員） A	濱崎好治	1
視聴覚教育メディア論（博物館・学芸員） B	中條英樹	
教育学概論（博物館・学芸員） A	熊澤恵里子	1
教育学概論（博物館・学芸員） B	山西優二	
生涯学習概論（博物館・学芸員） A	新井浩子	1
生涯学習概論（博物館・学芸員） B	古市将樹	
博物館経営・情報論（博物館・学芸員） A	前山裕司	2
	若林繁	
博物館経営・情報論（博物館・学芸員） B	篠雅廣	2
博物館資料論（博物館・学芸員） A	岡戸敏幸	
博物館資料論（博物館・学芸員） B	岡部央	
	合計	12

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財行政論（博物館・学芸員）	川瀬由照	2
文化財保存修復（博物館・学芸員） A	櫻庭裕介	2
文化財保存修復（博物館・学芸員） B	遠藤三右衛門	
文化財保存修復（博物館・学芸員） C	庄司文計	

2007年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
生涯学習概論（学芸員夏季） A	新井 浩子	1
生涯学習概論（学芸員夏季） B	古市 将樹	
博物館概論（学芸員夏季） A	村松 哲文	2
博物館概論（学芸員夏季） B	大橋 一章	
博物館経営・情報論（学芸員夏季） A	前山 裕司	2
博物館経営・情報論（学芸員夏季） B	若林 繁	
	岡部 央	
博物館資料論（学芸員夏季） A	岡戸 敏幸	2
博物館資料論（学芸員夏季） B	岡部 央	
博物館実習（学芸員夏季） A	杉本 欣久	3
	宮瀧 交二	
	村松 哲文	
博物館実習（学芸員夏季） B	杉本 欣久	
	宮瀧 交二	
	村松 哲文	
博物館実習（学芸員夏季） C	内田 啓一	
	鈴木 泉	
博物館実習（学芸員夏季） D	内田 啓一	
	鈴木 泉	
博物館実習（学芸員夏季） E	杉山 正司	
	内藤 勝雄	
博物館実習（学芸員夏季） F	内藤 勝雄	
	山田 磯夫	
博物館実習（学芸員夏季） G	内藤 勝雄	
	山田 磯夫	
視聴覚教育メディア論（学芸員夏季） A	下野 玲子	1
視聴覚教育メディア論（学芸員夏季） B	濱崎 好治	
教育学概論（学芸員夏季） A	熊澤 恵里子	1
教育学概論（学芸員夏季） B	山西 優二	
合計		12

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財行政論（学芸員夏季）	鷲塚 泰光	2
文化財保存修復（学芸員夏季） A	櫻庭 裕介	2
文化財保存修復（学芸員夏季） B	遠藤 三右衛門	
文化財保存修復（学芸員夏季） C	庄司 文計	

2008年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
生涯学習概論（学芸員夏季） A	新井 浩子	1
生涯学習概論（学芸員夏季） B	古市 将樹	
博物館概論（学芸員夏季） A	村松 哲文	2
博物館概論（学芸員夏季） B	大橋 一章	
博物館経営・情報論（学芸員夏季） A	前山 裕司	2
	若林 繁	
博物館経営・情報論（学芸員夏季） B	篠 雅廣	
博物館資料論（学芸員夏季） A	岡戸 敏幸	2
博物館資料論（学芸員夏季） B	岡部 央	
博物館実習（学芸員夏季） A	杉本 欣久	3
	宮瀧 交二	
	村松 哲文	
博物館実習（学芸員夏季） B	杉本 欣久	
	宮瀧 交二	
	村松 哲文	
博物館実習（学芸員夏季） C	内田 啓一	
	鈴木 泉	
博物館実習（学芸員夏季） D	内田 啓一	
	鈴木 泉	
博物館実習（学芸員夏季） E	杉山 正司	
博物館実習（学芸員夏季） F	内藤 勝雄	
	山田 磯夫	
博物館実習（学芸員夏季） G	内藤 勝雄	
	山田 磯夫	
博物館実習（学芸員夏季） H	岡部 央	
	宮瀧 交二	
視聴覚教育メディア論（学芸員夏季） A	下野 玲子	1
視聴覚教育メディア論（学芸員夏季） B	濱崎 好治	
教育学概論（学芸員夏季） A	熊澤 恵里子	1
教育学概論（学芸員夏季） B	山西 優二	
合計		12

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財保存修復（学芸員夏季） A	小松 武彦	2
	櫻庭 裕介	
文化財保存修復（学芸員夏季） B	遠藤 三右衛門	
文化財保存修復（学芸員夏季） C	庄司 文計	

2009年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
生涯学習概論（学芸員夏季） A	新井浩子	1
生涯学習概論（学芸員夏季） B	古市将樹	
博物館概論（学芸員夏季） A	村松哲文	2
博物館概論（学芸員夏季） B	大橋一章	
博物館経営・情報論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館経営・情報論（学芸員夏季） B	篠雅廣	
博物館資料論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館資料論（学芸員夏季） B	前山裕司	
博物館実習（学芸員夏季） A	若林繁	3
	杉本欣久	
	宮瀧交二	
博物館実習（学芸員夏季） B	村松哲文	
	杉本欣久	
	宮瀧交二	
博物館実習（学芸員夏季） C	内田啓一	
	鈴木泉	
博物館実習（学芸員夏季） D	内田啓一	
	鈴木泉	
博物館実習（学芸員夏季） E	杉山正司	
	内藤勝雄	
博物館実習（学芸員夏季） F	内藤勝雄	
	山田磯夫	
博物館実習（学芸員夏季） G	内藤勝雄	
	山田磯夫	
博物館実習（学芸員夏季） H	内田啓一	
	村松哲文	
	山田磯夫	
博物館実習（学芸員夏季） I	浅井京子	
	片岡直樹	
	若林繁	
視聴覚教育メディア論（学芸員夏季） A	下野玲子	1
視聴覚教育メディア論（学芸員夏季） B	濱崎好治	
教育学概論（学芸員夏季） A	熊澤恵里子	1
教育学概論（学芸員夏季） B	山西優二	
合計		12

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財保存修復（学芸員夏季） A	小松武彦	2
	櫻庭裕介	
文化財保存修復（学芸員夏季） B	吉田斎晃	
文化財保存修復（学芸員夏季） C	庄司文計	

2010年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
生涯学習概論（学芸員夏季） A	新井浩子	1
生涯学習概論（学芸員夏季） B	古市将樹	
博物館概論（学芸員夏季） A	村松哲文	2
博物館概論（学芸員夏季） B	大橋一章	
博物館経営・情報論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館経営・情報論（学芸員夏季） B	篠雅廣	
博物館資料論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館資料論（学芸員夏季） B	前山裕司	
博物館実習（学芸員夏季） A	杉本欣久	3
	宮瀧交二	
	村松哲文	
博物館実習（学芸員夏季） B	杉本欣久	
	宮瀧交二	
	村松哲文	
博物館実習（学芸員夏季） C	内田啓一	
	鈴木泉	
博物館実習（学芸員夏季） D	内田啓一	
	鈴木泉	
博物館実習（学芸員夏季） E	内藤勝雄	
	山田磯夫	
博物館実習（学芸員夏季） F	内藤勝雄	
	山田磯夫	
博物館実習（学芸員夏季） G	浅井京子	
	片岡直樹	
	成澤勝嗣	
博物館実習（学芸員夏季） H	杉山正司	
	内藤勝雄	
博物館実習（学芸員夏季） I	内田啓一	
	村松哲文	
	山田磯夫	
視聴覚教育メディア論（学芸員夏季） A	下野玲子	1
視聴覚教育メディア論（学芸員夏季） B	濱崎好治	
教育学概論（学芸員夏季） A	熊澤恵里子	1
教育学概論（学芸員夏季） B	山西優二	
合計		12

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財保存修復（学芸員夏季） A	小松武彦	2
	櫻庭裕介	
文化財保存修復（学芸員夏季） B	吉田斎晃	
文化財保存修復（学芸員夏季） C	庄司文計	

2011年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
生涯学習概論（学芸員夏季） A	新井浩子	1
生涯学習概論（学芸員夏季） B	古市将樹	
博物館概論（学芸員夏季） A	村松哲文	2
博物館概論（学芸員夏季） B	大橋一章	
博物館経営・情報論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館経営・情報論（学芸員夏季） B	篠雅廣	
博物館資料論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館資料論（学芸員夏季） B	前山裕司	
博物館実習（学芸員夏季） A	宮瀧交二	3
	村松哲文	
博物館実習（学芸員夏季） B	杉本欣久	
	宮瀧交二	
博物館実習（学芸員夏季） C	村松哲文	
	内田啓一	
博物館実習（学芸員夏季） D	鈴木泉	
	内田啓一	
博物館実習（学芸員夏季） E	鈴木泉	
	内藤勝雄	
博物館実習（学芸員夏季） F	山田磯夫	
	内藤勝雄	
博物館実習（学芸員夏季） H	山田磯夫	
	杉山正司	
博物館実習（学芸員夏季） J	内藤勝雄	
	浅井京子	
	井上尚明	
	片岡直樹	
博物館実習（学芸員夏季） K	成澤勝嗣	
	浅井京子	
	片岡直樹	
	関義則	
視聴覚教育メディア論（学芸員夏季） A	成澤勝嗣	1
	下野玲子	
視聴覚教育メディア論（学芸員夏季） B	濱崎好治	1
教育学概論（学芸員夏季） A	熊澤恵里子	1
教育学概論（学芸員夏季） B	山西優二	
合計		12

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財保存修復（学芸員夏季） A	小松武彦	2
	櫻庭裕介	
文化財保存修復（学芸員夏季） B	吉田斎晃	
文化財保存修復（学芸員夏季） C	庄司文計	

2012年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
博物館概論（学芸員夏季） A	村松哲文	2
博物館概論（学芸員夏季） B	大橋一章	
博物館資料論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館資料論（学芸員夏季） B	前山裕司	
博物館実習（学芸員夏季） A	杉本欣久	3
	宮瀧交二	
博物館実習（学芸員夏季） B	村松哲文	
	杉本欣久	
博物館実習（学芸員夏季） C	宮瀧交二	
	村松哲文	
博物館実習（学芸員夏季） D	内田啓一	
	鈴木泉	
博物館実習（学芸員夏季） E	内田啓一	
	鈴木泉	
博物館実習（学芸員夏季） F	内藤勝雄	
	山田磯夫	
博物館実習（学芸員夏季） G	内藤勝雄	
	山田磯夫	
博物館実習（学芸員夏季） H	杉山正司	
	内藤勝雄	
博物館実習（学芸員夏季） I	浅井京子	
	井上尚明	
	片岡直樹	
	関義則	
博物館実習（学芸員夏季） J	成澤勝嗣	
	浅井京子	
	井上尚明	
	片岡直樹	
博物館実習（学芸員夏季） K	関義則	
	成澤勝嗣	
	浅井京子	
	井上尚明	
博物館経営論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館経営論（学芸員夏季） B	篠雅廣	
博物館情報・メディア論（学芸員夏季） A	下野玲子	2
博物館情報・メディア論（学芸員夏季） B	濱崎好治	
博物館展示論（学芸員夏季） A	薩摩雅登	2
	高橋信裕	
博物館展示論（学芸員夏季） B	薩摩雅登	
	高橋信裕	
博物館資料保存論（学芸員夏季） B	青木繁夫	2
生涯学習概論（学芸員夏季） A	新井浩子	2
生涯学習概論（学芸員夏季） B	古市将樹	
博物館教育論（学芸員夏季） A	梨本加菜	2
	端山聡子	
博物館教育論（学芸員夏季） B	山西優二	
	合計	19

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財保存修復（学芸員夏季） A	小松武彦	2
	櫻庭裕介	
文化財保存修復（学芸員夏季） B	吉田斎晃	
文化財保存修復（学芸員夏季） C	庄司文計	

2013年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
博物館概論（学芸員夏季） A	村松哲文	2
博物館概論（学芸員夏季） B	山田磯夫	
博物館資料論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館資料論（学芸員夏季） B	前山裕司	
博物館実習（学芸員夏季） A	杉本欣久	3
	宮瀧交二	
博物館実習（学芸員夏季） B	村松哲文	
	杉本欣久	
博物館実習（学芸員夏季） C	宮瀧交二	
	村松哲文	
博物館実習（学芸員夏季） D	内田啓一	
	鈴木泉	
博物館実習（学芸員夏季） E	内田啓一	
	鈴木泉	
博物館実習（学芸員夏季） F	真田尊光	
	山田磯夫	
博物館実習（学芸員夏季） G	真田尊光	
	山田磯夫	
博物館実習（学芸員夏季） H	井上尚明	
	梅沢恵	
	片岡直樹	
	関義則	
博物館実習（学芸員夏季） H	成澤勝嗣	
	井上尚明	
	梅沢恵	
	片岡直樹	
博物館経営論（学芸員夏季） A	関義則	2
成澤勝嗣		
博物館経営論（学芸員夏季） B	岡戸敏幸	2
篠雅廣		
博物館情報・メディア論（学芸員夏季） A	下野玲子	2
博物館情報・メディア論（学芸員夏季） B	濱崎好治	
博物館展示論（学芸員夏季） A	薩摩雅登	2
	高橋信裕	
博物館展示論（学芸員夏季） B	薩摩雅登	2
	高橋信裕	
博物館資料保存論（学芸員夏季） A	岩本克昌	2
	関義則	
博物館資料保存論（学芸員夏季） B	青木繁夫	2
生涯学習概論（学芸員夏季） A	新井浩子	
生涯学習概論（学芸員夏季） B	古市将樹	
博物館教育論（学芸員夏季） A	梨本加菜	2
	端山聡子	
博物館教育論（学芸員夏季） B	稲庭彩和子	
	小笠原喜康	
	佐藤優香	
	並木美砂子	
	合計	19

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財保存修復（学芸員夏季） A	小松武彦	2
	櫻庭裕介	
文化財保存修復（学芸員夏季） B	吉田斎晃	
文化財保存修復（学芸員夏季） C	庄司文計	

2014年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
博物館概論（学芸員夏季） A	村松哲文	2
博物館概論（学芸員夏季） B	山田磯夫	
博物館資料論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館資料論（学芸員夏季） B	前山裕司	
博物館実習（学芸員夏季） A	片岡直樹	3
	杉本欣久	
	関義則	
	宮瀧交二	
	村松哲文	
博物館実習（学芸員夏季） B	片岡直樹	
	杉本欣久	
	関義則	
	宮瀧交二	
	村松哲文	
博物館実習（学芸員夏季） C	井上尚明	
	内田啓一	
	岡本明子	
	鈴木泉	
博物館実習（学芸員夏季） D	井上尚明	
	内田啓一	
	岡本明子	
	鈴木泉	
博物館実習（学芸員夏季） E	真田尊光	
博物館実習（学芸員夏季） F	山田磯夫	
	真田尊光	
	山田磯夫	
博物館経営論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館経営論（学芸員夏季） B	篠雅廣	
博物館情報・メディア論（学芸員夏季） A	下野玲子	2
博物館情報・メディア論（学芸員夏季） B	濱崎好治	
博物館展示論（学芸員夏季） A	薩摩雅登	2
	高橋信裕	
博物館展示論（学芸員夏季） B	薩摩雅登	
	高橋信裕	
博物館資料保存論（学芸員夏季） A	岩本克昌	2
	関義則	
博物館資料保存論（学芸員夏季） B	青木繁夫	
生涯学習概論（学芸員夏季） A	新井浩子	2
生涯学習概論（学芸員夏季） B	古市将樹	
博物館教育論（学芸員夏季） A	梨本加菜	2
	端山聡子	
	稲庭彩和子	
博物館教育論（学芸員夏季） B	小笠原喜康	
	佐藤優香	
	並木美砂子	
	合計	19

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財保存修復（学芸員夏季） A	小松武彦	2
	櫻庭裕介	
文化財保存修復（学芸員夏季） B	吉田斎晃	
文化財保存修復（学芸員夏季） C	庄司文計	

2015年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
博物館概論（学芸員夏季） A	村松哲文	2
博物館概論（学芸員夏季） B	山田磯夫	
博物館資料論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館資料論（学芸員夏季） B	前山裕司	
博物館実習（学芸員夏季） A	内田啓一	3
	片岡直樹	
	杉本欣久	
	関義則	
	村松哲文	
博物館実習（学芸員夏季） B	内田啓一	
	片岡直樹	
	杉本欣久	
	関義則	
	村松哲文	
博物館実習（学芸員夏季） C	井上尚明	
	鈴木泉	
	淵田雄	
	宮瀧交二	
博物館実習（学芸員夏季） D	井上尚明	
	鈴木泉	
	淵田雄	
	宮瀧交二	
博物館実習（学芸員夏季） E	井上尚明	
	岡本明子	
	真田尊光	
	山田磯夫	
博物館実習（学芸員夏季） F	井上尚明	
	岡本明子	
	真田尊光	
	山田磯夫	
博物館経営論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館経営論（学芸員夏季） B	篠雅廣	
博物館情報・メディア論（学芸員夏季） A	下野玲子	2
博物館情報・メディア論（学芸員夏季） B	濱崎好治	
博物館展示論（学芸員夏季） A	薩摩雅登	2
	高橋信裕	
博物館展示論（学芸員夏季） B	薩摩雅登	
	高橋信裕	
博物館資料保存論（学芸員夏季） A	岩本克昌	2
	関義則	
博物館資料保存論（学芸員夏季） B	青木繁夫	2
生涯学習概論（学芸員夏季） A	新井浩子	
生涯学習概論（学芸員夏季） B	古市将樹	2
博物館教育論（学芸員夏季） A	梨本加菜	
	端山聡子	
博物館教育論（学芸員夏季） B	稲庭彩和子	2
	小笠原喜康	
	佐藤優香	
	並木美砂子	
合計		19

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財保存修復（木造彫刻）（学芸員夏季）	小松武彦	2
	櫻庭裕介	
文化財保存修復（日本画・古文書）（学芸員夏季）	庄司文計	2
文化財保存修復（洋画）（学芸員夏季）	村松裕美	2
資料保存修復（近現代文書）（学芸員夏季）	有友至	2
	中島郁子	
文化財専門講義（日本彫刻史）（学芸員夏季）	片岡直樹	2
文化財専門講義（日本絵画史）（学芸員夏季）	新江京子	2
	谷川ゆき	
文化財専門講義（日本工芸史）（学芸員夏季）	池田宏	2
	加島勝	
	竹内奈美子	

2016年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
博物館概論（学芸員夏季） A	村松哲文	2
博物館概論（学芸員夏季） B	山田磯夫	
博物館資料論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館資料論（学芸員夏季） B	前山裕司	
博物館実習（学芸員夏季） A	内田啓一	3
	片岡直樹	
	杉本欣久	
	関義則	
博物館実習（学芸員夏季） B	村松哲文	
	内田啓一	
	片岡直樹	
	杉本欣久	
博物館実習（学芸員夏季） C	関義則	
	井上尚明	
	鈴木泉	
	淵田雄	
博物館実習（学芸員夏季） D	宮瀧交二	
	井上尚明	
	鈴木泉	
	淵田雄	
博物館実習（学芸員夏季） E	宮瀧交二	
	井上尚明	
	岡本明子	
	真田尊光	
博物館実習（学芸員夏季） F	山田磯夫	
	井上尚明	
	岡本明子	
	真田尊光	
博物館実習（学芸員夏季） G	山田磯夫	
	井上尚明	
	真田尊光	
	鈴木泉	
博物館経営論（学芸員夏季） A	淵田雄	2
	宮瀧交二	
	山田磯夫	2
	岡戸敏幸	
博物館経営論（学芸員夏季） B	篠雅廣	2
博物館情報・メディア論（学芸員夏季） A	下野玲子	
博物館情報・メディア論（学芸員夏季） B	濱崎好治	2
博物館展示論（学芸員夏季） A	薩摩雅登	
博物館展示論（学芸員夏季） B	高橋信裕	2
	薩摩雅登	
博物館資料保存論（学芸員夏季） A	高橋信裕	2
	岩本克昌	
博物館資料保存論（学芸員夏季） B	関義則	2
生涯学習概論（学芸員夏季） A	青木繁夫	
生涯学習概論（学芸員夏季） B	新井浩子	2
博物館教育論（学芸員夏季） A	阿比留久美	
	博物館教育論（学芸員夏季） B	梨本加菜子
端山聡子		
稲庭彩和子		
小笠原喜康		
博物館教育論（学芸員夏季） B	佐藤優香	2
	並木美砂子	
合計		19

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財保存修復（木造彫刻）（学芸員夏季）	小松武彦	2
	櫻庭裕介	
文化財保存修復（日本画・古文書）（学芸員夏季）	庄司文計	2
文化財保存修復（洋画）（学芸員夏季）	村松裕美	2
資料保存修復（近現代文書）（学芸員夏季）	有友至	2
	中島郁子	
文化財専門講義（日本彫刻史）（学芸員夏季）	片岡直樹	2
文化財専門講義（日本絵画史）（学芸員夏季）	新江京子	2
	谷川ゆき	
文化財専門講義（日本工芸史）（学芸員夏季）	池田宏	2
	加島勝	
	小松大秀	

2017年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
博物館概論（学芸員夏季） A	村松哲文	2
博物館概論（学芸員夏季） B	山田磯夫	
博物館資料論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館資料論（学芸員夏季） B	前山裕司	
博物館実習（学芸員夏季） A	片岡直樹	3
	杉本欣久	
	関義則	
	原口雅樹	
博物館実習（学芸員夏季） B	村松哲文	
	片岡直樹	
	杉本欣久	
	関義則	
博物館実習（学芸員夏季） C	原口雅樹	
	井上尚明	
	鈴木泉	
	淵田雄	
博物館実習（学芸員夏季） D	宮瀧交二	
	井上尚明	
	鈴木泉	
	淵田雄	
博物館実習（学芸員夏季） E	宮瀧交二	
	井上尚明	
	岡本明子	
	真田尊光	
博物館実習（学芸員夏季） F	山田磯夫	
	井上尚明	
	岡本明子	
	真田尊光	
博物館実習（学芸員夏季） G	山田磯夫	
	井上尚明	
博物館経営論（学芸員夏季） A	岡戸敏幸	2
博物館経営論（学芸員夏季） B	篠雅廣	
博物館情報・メディア論（学芸員夏季） A	下野玲子	2
博物館情報・メディア論（学芸員夏季） B	濱崎好治	
博物館展示論（学芸員夏季） A	薩摩雅登	2
博物館展示論（学芸員夏季） B	高橋信裕	
博物館資料保存論（学芸員夏季）	薩摩雅登	2
	高橋信裕	
博物館資料保存論（学芸員夏季）	関義則	2
生涯学習概論（学芸員夏季） A	山田磯夫	
生涯学習概論（学芸員夏季） B	新井浩子	2
博物館教育論（学芸員夏季） A	阿比留久美	2
	梨本加菜	
博物館教育論（学芸員夏季） B	端山聡子	2
	稲庭彩和子	
	小笠原喜康	
	佐藤優香	
	並木美砂子	
合計		19

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財保存修復（木造彫刻）（学芸員夏季）	小松武彦	2
	櫻庭裕介	
文化財保存修復（日本画・古文書）（学芸員夏季）	庄司文計	2
文化財保存修復（洋画）（学芸員夏季）	村松裕美	2
資料保存修復（近現代文書）（学芸員夏季）	有友至	2
	中島郁子	
文化財専門講義（日本絵画史）（学芸員夏季）	新江京子	2
	谷川ゆき	
文化財専門講義（日本工芸史）（学芸員夏季）	池田宏	2
	加島勝	
	小松大秀	

2018年度 〈必修科目〉

科目名	氏名	単位数
博物館概論 (学芸員夏季) A	村松哲文	2
博物館概論 (学芸員夏季) B	山田磯夫	
博物館資料論 (学芸員夏季) A	岡戸敏幸	2
博物館資料論 (学芸員夏季) B	前山裕司	
博物館実習 (学芸員夏季) A	片岡直樹	3
	杉本欣久	
	関義則	
	原口雅樹	
博物館実習 (学芸員夏季) B	村松哲文	
	片岡直樹	
	杉本欣久	
	関義則	
博物館実習 (学芸員夏季) C	原口雅樹	
	井上尚明	
	鈴木泉	
	淵田雄	
博物館実習 (学芸員夏季) D	井上尚明	
	鈴木泉	
	原口雅樹	
	淵田雄	
博物館実習 (学芸員夏季) E	井上尚明	
	岡本明子	
	真田尊光	
	山田磯夫	
博物館実習 (学芸員夏季) F	井上尚明	
	岡本明子	
	真田尊光	
	山田磯夫	
博物館実習 (学芸員夏季) G	井上尚明	
	淵田雄	
博物館経営論 (学芸員夏季) A	山田磯夫	2
博物館経営論 (学芸員夏季) B	岡戸敏幸	
博物館情報・メディア論 (学芸員夏季) A	篠雅廣	2
博物館情報・メディア論 (学芸員夏季) B	下野玲子	
博物館展示論 (学芸員夏季) A	濱崎好治	2
	薩摩雅登	
博物館展示論 (学芸員夏季) B	高橋信裕	
	薩摩雅登	
博物館資料保存論 (学芸員夏季)	高橋信裕	2
生涯学習概論 (学芸員夏季)	関義則	2
博物館教育論 (学芸員夏季) A	山田磯夫	2
	阿比留久美	
博物館教育論 (学芸員夏季) B	梨本加菜	2
	端山聡子	
	稲庭彩和子	
	小笠原喜康	
	佐藤優香	
	並木美砂子	
合計		19

〈選択科目〉

科目名	氏名	単位数
文化財保存修復（木造彫刻）（学芸員夏季）	櫻庭裕介	2
文化財保存修復（日本画・古文書）（学芸員夏季）	庄司文計	2
文化財保存修復（洋画）（学芸員夏季）	村松裕美	2
資料保存修復（近現代文書）（学芸員夏季）	有友至	2
	中島郁子	
文化財専門講義（日本絵画史）（学芸員夏季）	新江京子	2
	谷川ゆき	
文化財専門講義（日本工芸史）（学芸員夏季）	池田宏	2
	加島勝	
	小松大秀	

早稲田大学文学部学芸員資格課程特別講演会一覧

第1回特別講演会

2014年8月31日(日)

- 遠藤 望氏 (世田谷区立美術館学芸部企画課長)
「ボストン美術館—華麗なるジャポニズム展」
をつくる
- 大橋 一章氏 (早稲田大学名誉教授)
世界の収蔵庫正倉院宝物

第2回特別講演会

テーマ「学芸員の仕事」

2015年3月21日(土)

- 内田 啓一氏 (早稲田大学文学学術院教授)
文化財の調査、そして研究
- 久保 佐知恵氏 (サントリー美術館学芸員)
フレッシュ学芸員の日常と非日常
- 田籠 美穂氏 (森美術館シニアコーディネーター)
現代アートの裏側で

第3回特別講演会

テーマ「美術館からの挑戦」

2015年9月5日(土)

- 梶田 倫広氏 (東京国立近代美術館研究員)
展覧会と美術館
—「No Museum, No Life?—これからの美術館事典」(東京国立近代美術館)を通じて
- 若林 覚氏 (練馬区立美術館館長)
私の美術漫歩
—ときめきの美 いま 練馬から

第4回特別講演会

テーマ「国際交流展の舞台裏」

2016年3月12日(土)

- 井上 洋一氏 (東京国立博物館学芸企画部長)
海外交流展と日本
- 大橋 一章氏 (早稲田大学名誉教授)
東アジアの文化交流

第5回特別講演会

テーマ「小さな専門博物館の底チカラ」

2016年9月3日(土)

- 井村 恵美氏 (郵政博物館主任学芸員)
郵政博物館の資料力
- 石川 桂子氏
(弥生美術館・竹久夢二美術館主任学芸員)
弥生美術館・竹久夢二美術館の個性力
- 井本 悠紀氏 (刀剣博物館学芸員)
刀剣博物館の歴史力

第6回特別講演会

テーマ「文化財を守るために1」

2017年3月11日(土)

- 川瀬 由照氏
(文化庁文化財部美術学芸課 文化財調査官)
文化財を守っていくために
—文化財保護とその現状
- 筒井 忠仁氏
(文化庁文化財部美術学芸課 文部科学技官)
文化財の保存と修理
—絵画作品を中心として—

第7回特別講演会

テーマ「これが私のコレクション」

2017年9月2日（土）

- 大村 明氏（静岡近代美術館館長）
静岡に名画を 信念のコレクション
- 谷川 一雄氏（木組み博物館館長）
博物館つくりました。

第9回特別講演会

テーマ「早稲田大学の博物館」

2018年9月1日（土）

- 川尻 秋生氏（會津八一記念博物館副館長）
早稲田大学文学学術院教授）
會津八一記念博物館の20年
- 岡室 美奈子氏（坪内博士記念演劇博物館館長）
早稲田大学文学学術院教授）
攻める博物館を目指して
——演劇博物館の挑戦

第8回特別講演会

テーマ「文化財を守るために2—身近な文化財—」

2018年3月10日（土）

- 端山 聡子氏（横浜美術館学芸員）
市民＋美術館による屋外彫刻や絵画の再発見
- 黒川 弘毅氏（武蔵野美術大学教授）
屋外彫刻を保存するために

第10回特別講演会

テーマ「文化財を守るために3—文化財レスキュー—」

2019年3月9日（土）

- 阿部 浩一氏（福島大学行政政策学類教授）
東日本大震災・原発事故災害と文化財レスキュー
—専門家・行政・市民・学生とともに歩んだ
ふくしまの8年間と今後—
- 青木 繁夫氏（東京文化財研究所 名誉研究員）
自然災害で失われる文化遺産

謝 辞

当講座を運営するに当たり多くの方にご協力いただきました。

また、ここにお名前を記すことのできなかつた多くの皆様にもサポートしていただきました。

この場をお借りして、心から謝意を申し上げます。(敬称略)

アジア総研株式会社	秩父美術館
茨城県養福寺	千葉県妙覚寺
茨城県薬王院	巴工業株式会社
大阪薬研株式会社	日本通運株式会社
株式会社アート・ボックス	東中江和紙加工生産組合
株式会社ウエマツ	ビジネススマート株式会社
株式会社正文社	ひだか和紙有限会社
株式会社タキヤ	兵庫県円教寺
株式会社竹尾	兵庫県鶴林寺
株式会社竹宝商会	兵庫県加東市教育委員会
株式会社デューク・コーポレーション	ヤマト運輸株式会社
株式会社得水軒	有限会社アイツーアソシエイツ
株式会社東山堂	有限会社長春堂
株式会社トライ・エックス	有限会社藤澤漆商店
株式会社ハイフンネットワークス	早稲田大学生生活協同組合
株式会社パレット	
株式会社メディカルエンプロイメント	大 石 和 江
株式会社ユニカ	小笠原 正
株式会社ユニグラフィック	金 志 虎
株式会社ヨシカワ商事	黒 川 裕 子
株式会社ライゼフーズ	呉 妙 子
株式会社リブテック	塩 澤 秀 樹
株式会社早稲田大学アカデミックソリューション	田 邊 陵 光
株式会社早稲田大学プロパティマネジメント	中 村 透
キハラ株式会社	中 村 年 孝
廣告社株式会社	萬 納 恵 介
古美術ないとう	藪 野 美 芽
第一合成株式会社	
